

# 山梨県林内路網整備計画の変更について

## 1 計画変更の趣旨

### ○ 新たな「森林整備・林業成長産業化推進プラン（仮称）」の策定

本県の森林・林業・木材産業の新たな指針となる新プランに沿った個別実施計画を策定

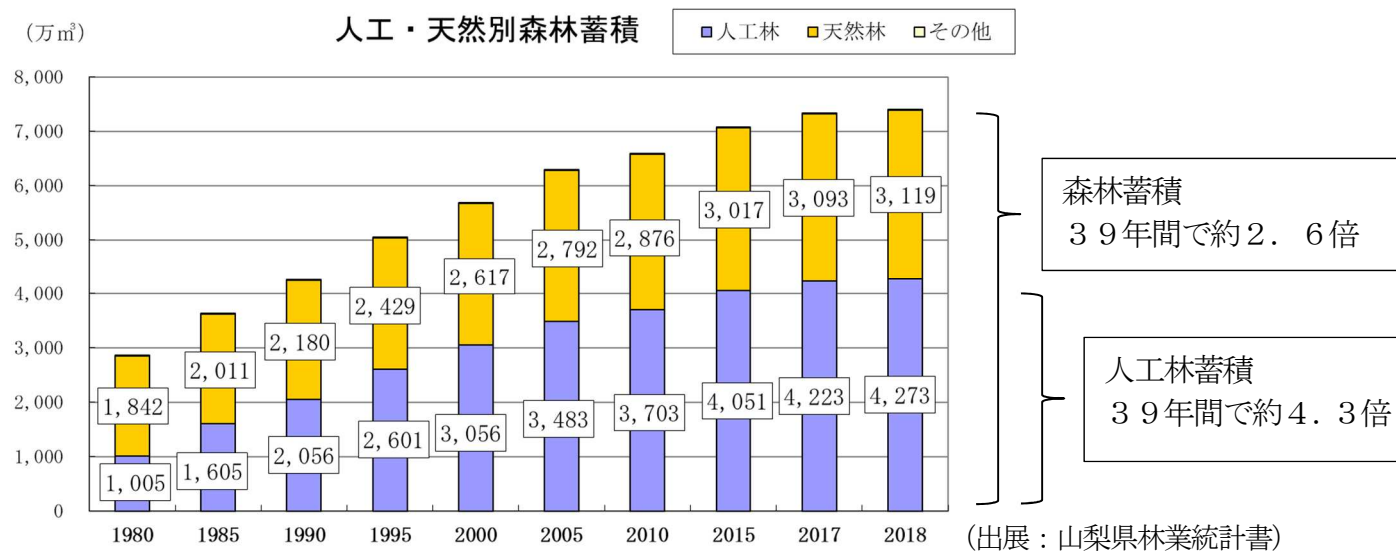
### ○ 県産材需給の動向

人工林の成熟と県産材需要の高まりなど、時代ニーズに即した計画内容への修正

## 2 現計画中の森林・林業の情勢

### ○ 森林資源の充実

県内の森林蓄積量は年々増加し、人工林では1980（S55）年との比較で約4.3倍と充実



### ○ 大型合板工場の稼働など、県産材需要の高まり

本年5月に稼働した身延町内の大型合板工場は、年間6万m<sup>3</sup>の県産材使用を計画

## 3 現計画の進捗状況

### ○ 林内路網の整備状況

単位：Km

年度	H27	H28	H29	H30	計	進捗率
林内路網	計画	24.0	24.0	24.0	24.0	96.0
	実績	40.0	41.0	52.0	53.0	186.0

路網整備の進捗は計画を上回り順調、新たなプランに沿って目標を再設定

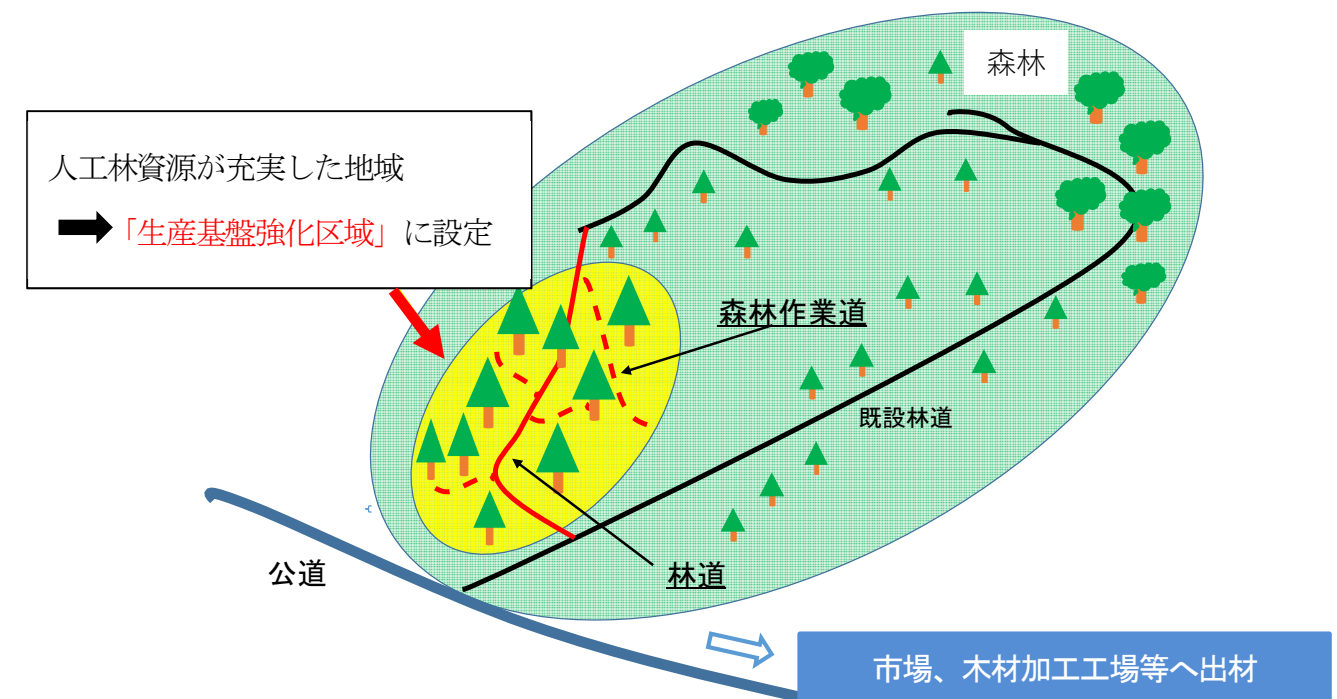
## 4 計画の柱

### ○ 林地の傾斜と作業システムに応じた路網配置

林地の緩傾斜地から中傾斜地は、高性能林業機械等の車両系による伐採・搬出作業を想定、急傾斜地は、索道による架線系作業を想定し、林道（トラック等の大型車両が走行）と森林作業道（主として林業機械が走行）をそれぞれの役割に応じて適切に配置

### ○ 木材を供給する区域に路網を集中的に整備

人工林資源が充実した区域を「生産基盤強化区域」に設定し、木材の搬出等を集中的に実施するため路網を重点的に整備



### ○ 市町村営林道の整備促進

新たな森林管理システムにより、市町村が経営管理する森林の適切な施業に必要な市町村営林道を効果的に配置

これらの柱を踏まえ、より効果的な路網配置を計画

## 5 計画期間

○ 令和2（2020）年度から令和11（2029）年度までの10年間